

# 新スポーツセンター建設へ

## 実施設計がまとまりました



《↑外観イメージ》

新スポーツセンターは、平成29年3月に基本設計を完了したのち、4月からは実施設計に移り、詳細を協議してきました。

実施設計では、利用者がより利用しやすいスポーツセンターとなるよう、機能性や安全性、建物の構造をより重視すると同時に、可能な限り建築コストを圧縮するための協議を重ねてきました。

この実施設計も12月にまとめ、平成31年4月オープンに向けて、新スポーツセンター建設工事が本格的に始まることとなります。

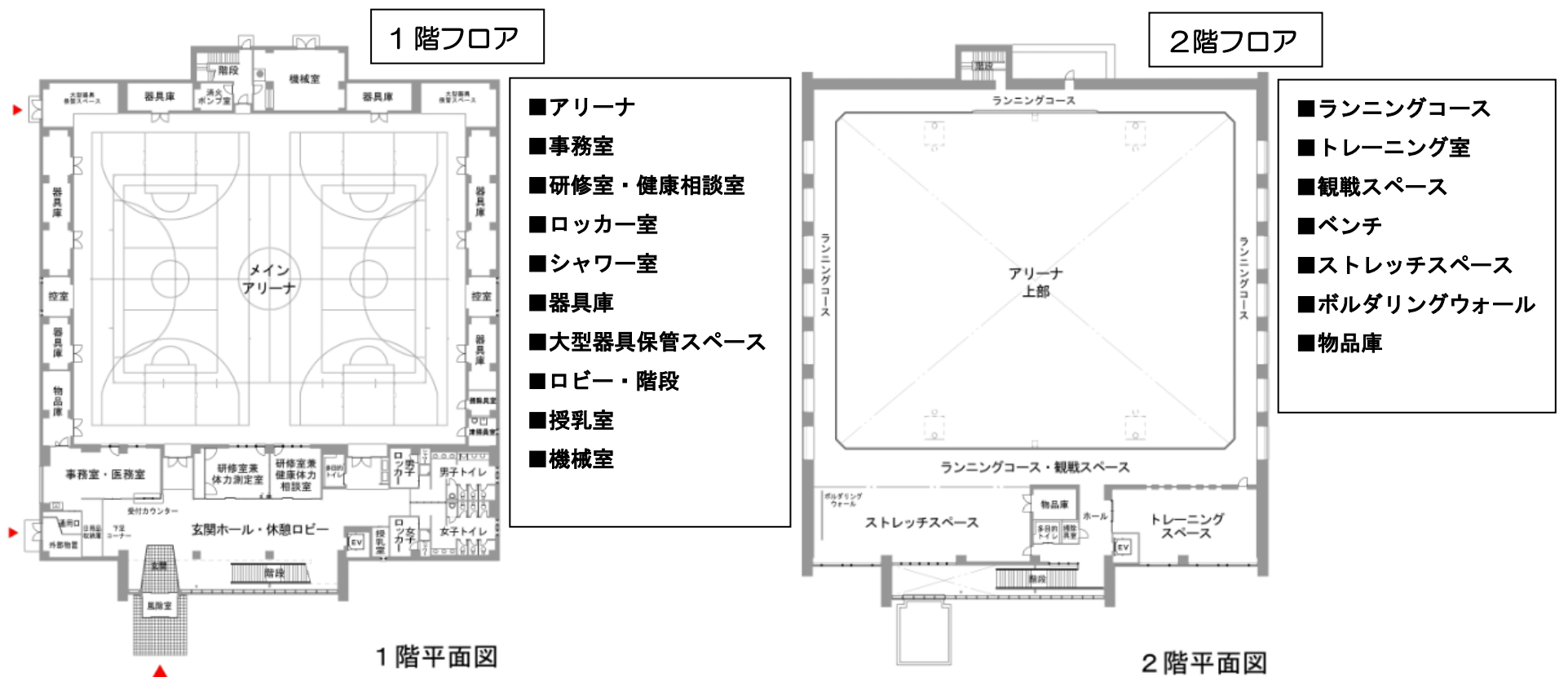


《↑内観イメージ》

### 【建設概要】

- ・建設地：訓子府町東町 400 番地
- ・延べ床面積：2,933.55㎡（1階 2,111.42㎡、2階 822.13㎡）
- ・構造：1階部分…鉄筋コンクリート造、2階部分…鉄骨造

### ■フロア構成



《裏面へ続く》

## ■外構について

スポーツセンターと公民館の間が広くなり、約40台分の駐車スペースができます。

また、スポーツセンター建設に係る外構工事に合わせ、損傷が目立ってきた公民館南側の舗装の一部改修や温水プール西側の通路を廃止し、緑地を設置する外構工事を同時に行う予定としています。

外構工事は、スポーツセンター完成後、平成31年11月頃の完成を目指しています。

## ■建設事業費について

基本設計時の推計から2年が経過し、全国的な労務費や資材費が16.2%上昇し、それに伴い建設工事費が増加しましたが、実施設計においてできるだけ建設コストを削減することに努めた結果、新スポーツセンターの主な概算事業費は下表のとおりとなりました。

### 〔基本設計時の推計事業費〕

基本・実施設計	3,260万円
<b>本体工事概算額</b>	<b>12億3,660万円</b>
解体工事費	1億8,000万円
外構工事費	3,000万円
備品購入費	3,000万円
工事監理費	1,400万円

**15億2,320万円**

#### 《基本設計時の推計値》

- ・道内における直近の同規模体育館の建築単価（平成27年1月現在）を参考にして建設工事費を推計した金額
- ・建設工事などについては、今後の様々な社会情勢の変化で変動する可能性などを住民説明会等で説明

#### 《本体工事費が増減した要因》

##### ○本体工事費が増額した主な要因

- ・基本設計時の推計から労務単価及び資材費が全国的に大幅上昇（**16.2%上昇!**）
- ・階段位置を中央部分に変更したことに伴う床面積の増加（約58㎡増加）

⇒**本体工事費が13億9,853万円に・・・**

##### ○本体工事費の圧縮に努めた主な項目

- ・鉄骨・鉄筋の軽量化
- ・杭打ち工事から地盤改良工事へ変更
- ・窓面積の減
- ・ストレッチスペースのオープン化
- ・壁材や床材など仕上材の調整 など

**これらの合計で約7,000万円の圧縮!!**

※上記工事費の圧縮によって、建物の強度や利用者の利便性には影響ありません。

### 〔建設工事費圧縮後の事業費〕

基本・実施設計	3,197万円
<b>本体工事概算額</b>	<b>13億2,815万円</b>
解体工事費	1億5,604万円
外構工事費	2,910万円
備品購入費	3,300万円
工事監理費	1,400万円

**15億9,226万円**

## ■今後のスケジュール

- 本体建設工事・・・平成30年2月から本体建設工事開始
- 本体建設完成・・・平成31年3月 新スポーツセンター完成予定
- オープン・・・平成31年4月頃予定
- 外構工事・・・平成31年4月頃～8月頃 外構工事予定

H30.2月 入札・本体工事開始

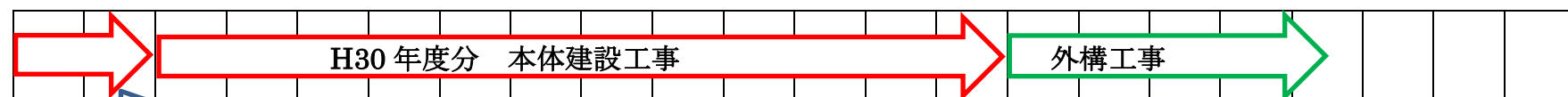
H31.4月 本体工事完了・オープン

H31.8月頃 外構完成

H30

H31

2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



H29年度分 本体建設工事

**問合せ先：訓子府町スポーツセンター（公民館内仮事務室）**

**TEL：47-2195 ・ FAX：47-4172**